

# やまねっと通信 第13号

2016・11

発行：社会福祉法人やまねっと

〒242-0028 大和市桜森3-4-2 大和泉の森作業所内 TEL 046-282-9018

## やまねっとほーむ桜ヶ丘 オープン

桜ヶ丘駅から高座渋谷方面、徒歩10分ほど旧藤沢街道沿いに当法人2カ所目となるグループホーム「やまねっとほーむ桜ヶ丘」が9月開所となりました。

9月、支援体制の都合もあり、女性から入居されることになりました。

10月には男性も入居が始まり、現在8名の方がほーむ桜ヶ丘で生活をされています。

開所して2か月、入居されたみなさんの気持ちが揺れ動いたりする中、支援者として新たな暮らしを見守っています。

やまねっとほーむ桜ヶ丘 管理者 川嶋



### ～開所式～

8月31日(水)に開所式が行われました。障がい福祉課の下野課長をはじめ、オーナーの廣瀬さん、設計を担当して下さったI.R.Aの綱川様、建設を請け負った大同工業の東本様はじめ9名の来賓の方にお越しいただきました。入所される利用者とそのご家族の方も参加され、総勢30名ほどの会となりました。理事長の挨拶のあと、来賓の皆さまを代表して下野課長にご挨拶をいただき、川嶋所長から職員・入所者の紹介があり、廣瀬さん、I.R.A様、大同工業様に記念品を贈呈いたしました。その後、軽食を食べながら懇談しました。



右：川嶋所長  
左：小谷主任



# ～命を守る～

社会福祉法人やまねっと 理事長 山岸 安志

7月に起きた津久井やまゆり園の事件に大きな衝撃を受けました。障がいがあるというだけで理不尽に殺害された皆さんのご冥福をお祈りいたします。また、怪我をされた皆さんが早く回復されることを願います。この事件は犯人が施設の元職員であったことで二重の衝撃を受けました。

戦前ドイツでは障がいがあるという理由だけで20万人の障がいのある人たちが自動車の排気ガス等で殺害されたといわれています。その後、ユダヤ人であるという理由だけで500万人以上もの人たちが殺害されました。それが優生思想のもとに行われました。しかし、こうした人間を大切にしない国家は、ナチスドイツが滅びたように、必ず滅びます。今回の犯人の言動にその思想がうかがえ、怖いと感じました。社会全体がこうした風潮にならないよう、声を出してゆくのも、私たち障がい者福祉に携わるものの務めなのです。

多くの方がテロや戦争で命を落としていると連日報道され、命が軽んじられているように感じられる現在ですが、あらためて命の重さを感じとらないといけないのだと思いました。手をつなぐ育成会が出した声明ではこう語りかけていました。「障がいのある人ひとり一人の命の重さに思いを馳せてほしいのです」。

ノーマライゼーションを唱えたデンマークのバンク・ミケルセンはナチスドイツの強制収容所を経験していました。障がいのある人たちの入所施設を見て「障がい者を排除するのではなく、障がいがあっても障がいの無い人と同じように当たり前で暮らせる社会こそが通常の社会だ」というノーマライゼーションの理念を訴えました。ノーマライゼーションは現在も障がい者福祉の基本理念です。そして、社会福祉法人やまねっとの基本理念でもあります。

あらためて、障がいのある人の通う事業所、生活の場として、障がいのある人たちを地域の人たちに知っていただき、理解されてゆくことが大切なのだと感じました。様々な活動をしていることを社会に訴え、伝えてゆかなければなりません。やまねっとでは、「障がいのある人たちの通う事業所は障がいのある人たちの権利を守る場所である」と考え、事業所内だけでなく、地域に発信してゆきたいと思います。障がいのある人たちが地域で当たり前のように暮らし、生きていることを伝えてゆくことが命を守ることにもつながるのです。

## 季節のコラム 「七五三」

11月と言えば七五三の季節ですね。

週末になると可愛い着物姿の子供たちが多く見られます。

もともとは発祥とされる関東地方の3歳「紙置きの儀」5歳が「袴儀」7歳が「帯解きの儀」という江戸時代に行われた神事であり、旧暦の数え年で行われます。

最近では写真スタジオでの前撮り等でファッションナブルな着物を着ている子供も多くみられますが、我が家では母親が七五三で着た着物を祖母が大事に保管してくれていたのもので、その着物を着ることにしました。着物に合わせ、昔ながらの髪結いが出る方を紹介していただいたのでちょっと古風な七五三となりました。

着物の柄や色遣いなど現代風にアレンジはされていますが日本の文化は大切に守り続けていきたいですね。

# けんおう交流まつり

10月21日、座間市のスカイアリーナ座間にて県央障作連主催の「けんおう交流まつり」が開催されました。県央地区の事業所の利用者、職員が集まり、テーブルゲームやキャラゲッ、魚釣りなどのミニレクリエーションに参加し、楽しみました。



午後の部では「じゃん♪びれっじ」さんをお呼びびして太鼓や音楽に合わせて踊ったりと、みなさんノリノリの大盛況でした。

## 新しい職員を紹介します。



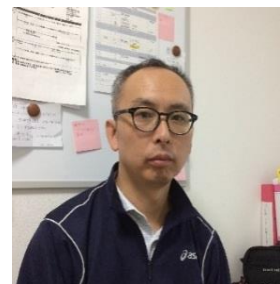
つきみの作業所  
めくろ としや  
目黒 敏也(常勤)

まだまだ未熟者ですが、よろしくお願ひ致します。



さくら作業所  
はきね ともかす  
関根 知宗(常勤)

さくら作業所の関根と申します。さくら作業所はアットホームで笑顔が多いです。



やまねっとほ一む桜ヶ丘  
うへだ しみお  
上田 史夫(常勤)

この度、グループホーム桜ヶ丘に世話人で就職しました上田と申します。やまねっとでは新参者で年齢的に高齢に属します。ここで働く皆様の協力あつての自分であることを忘れずに日々精進していきます。どうぞよろしくおねがひします。生粋(?)ではありませんが大和っ子です。



6月13日に大和福田作業所に共同募金会から新しい車が納車されました。これからも送迎やドライブに大活躍する事と思ひます。

### 訃報

8月16日大和さくら作業所のサービス管理責任者 新田裕康(のぶやす)さんが亡くなりました。平成6年から所長、サービス管理責任者を永らく務められましたが一昨年体調を崩されてからはサービス管理責任者に専念されていました。謹んでご冥福をお祈りし、ご報告いたします。

# 大和つきみの作業所を知ろう

やまねっとなら、最も北部にある事業所です。就労支援事業B型で現在18名の方が通われています。



## グループ活動



年に2回のグループ活動。6月は長谷川町子美術館へ出掛けました。

## 一泊旅行



お楽しみの年に1回の一泊旅行。今年には伊豆・吉奈温泉へ行って来ました。

## つきみの作業所の一日

### ①出勤

9:00~9:30の間に出勤します。徒歩や自転車、電車で来られる方、送迎の方、ご家族の送迎で来られる方と様々です。



### ②作業

近隣の企業さんから頂いている自動車部品の仕事やダイレクトメールの封入等を行っています。

### ③昼食

月曜日はお弁当を注文、火・木曜日はお弁当持参の日です。水・金曜日はボランティアさんが調理をさせていただきます。金曜日には一緒に調理実習を行っています。

つきみの作業所は平成7年4月に障害者地域作業所としてスタートして、現在は定員20名の就労継続支援B型事業所として活動をしています。中央林間駅から12分ほど歩いたところ。位置としては中央林間駅とつきみ野駅のほぼ中間といったところでしょうか。

日々の作業は自動車部品を並べる仕事、ダイレクトメールの封入作業やキャラクター商品に証紙を貼る仕事などを行っています。グループでいくつかの工程を分担しながら行ったり、一人で全てをこなしてしまう方もいたり、皆さんそれぞれで作業に取り組んでいます。だからと言ってばらばらになってしまっているのではなく、最終的には「あうんの呼吸」とでも言うべき力を発揮して作業を終わらせていきます。

勿論、作業だけではありません。余暇活動もつきみの作業所の重要な行事です。年に1回の一泊旅行や年に数回の映画の日、グループ活動では電車やバスの公共交通機関を最大限に利用してアクティブに様々な場所へと足を伸ばして、食事を楽しむ、真剣に遊んでいきます！

今日も皆さんの元気な声や素敵な歌声が響き渡り始め、つきみの作業所の日が始まります。

### ④帰宅

15:20に作業が終了。掃除を行い15:30に出勤簿に記録をつけ、15:40に帰宅になります。今日もお疲れ様でした。

### 自動車部品の並べ作業と組み立て

